



市長 からの 手紙

65 包括外部監査

市では、毎年、市で行われているさまざまな事業や事務の執行等について、行政の組織外の専門家(公認会計士)の監査を受けています。監査のテーマ(監査の対象となる、川越市行政の事業や組織の分野)は毎年違います。監査の結果は、毎年まとめて冊子の形で提出されます。

昨年度の監査の対象は「防災・危機管理の事業」でした。この分野は、ことの性質上、普段(平常時)は意識されない分野であり、見過ごされがちな領域です。実際に大地震や洪水などの大災害が発生したときに、初めて不備に気が付くというのでは困ります。その意味で、今回「防災・危機管理の事業」を対象に監査をしていただき、とても良かったと思いました。

今回の監査結果報告書の指摘事項には、次のようなことがありました。災害備蓄庫について、①整理整頓の状況が悪く、棚のみでは

備蓄品が入りきらず通路にも備蓄品が置いてある状態で、それが障害になり棚に近づきにくい場所もある。②同一備蓄品が1か所にまとまっているわけではなく、各所に点在して置いてあるものも多く、配置図もない。普段出入りしている担当者でなければ何がどこに置いてあるのかが非常に分かりにくい。③資機材について、発電機の多くは未使用であり動作確認を行っていない。④5年以上前に使用期限が過ぎた乾電池が備蓄されている。このような指摘があったので、担当部署に直ちに指示し、備蓄品の整理整頓や資機材の確認等を進めさせています。

ところで、皆さんは毎夕定時に子どもたちの帰宅を促す音声を防災行政無線で流しているのを聞いたことがあると思います。この放送は、実は機器が正常に作動することを毎日確認するためであることをご存じですか。発電機に限らず防災機器は、危急時にしか使わないものです。しかし、日常的に使いつつ管理していないと、いざという時に作動しない・使えない・使い方が分からない、ということになってしまう可能性があることを肝に銘じて、危急時に備えなければならない、と今回の包括外部監査の報告書を見て痛感しました。

川越市長 川合善明

募集は8月
スタート予定

今年もやります！ キテミル川越ショートフィルム大賞

広報室 ☎224-5495

市では、市内で撮影を行った映像作品を対象としたコンテスト「キテミル川越ショートフィルム大賞」を開催しています。このコンテストは、市内の魅力ある地域資源を発掘し、映像による発信を行うことが目的です。

昨年度は、個性豊かな17作品の応募がありました。優秀作品の上映・大賞授賞式は、6月を予定しています。

授賞式で上映された作品は、YouTube に開設している「川越市チャンネル」で市内外へ発信するほ

か、市民の皆さんにお披露目するための上映会も予定しています。どうぞお楽しみに！

そして、今年度も「キテミル川越ショートフィルム大賞」を実施します。主なロケ地が市内であればジャンルは問いません。見た方が川越に来たくくなるような作品の応募をお待ちしています。



前回の回分風景

*6月に予定している授賞式や今年度の作品募集の日程等は、決定次第、広報川越や市ホームページでお知らせします。